

2025年12月9日
株式会社 毎日放送

「発達障害の我が子、周囲に謝り続け…
母を救った美容師の言葉『彼は”困った子”じゃなく”困っている子”』」
2025 年 LINE ジャーナリズム賞「大賞」受賞のお知らせ

LINEヤフー株式会社が社会課題を工夫して伝えた記事を表彰する「LINE ジャーナリズム賞」において、MBSの『発達障害の我が子、周囲に謝り続け…母を救った美容師の言葉『彼は”困った子”じゃなく”困っている子”』』が大賞を受賞しました。

本作品は、関西初のローカル・ドキュメンタリー「映像」シリーズの「ハサミのミライ～発達障害児に寄り添う美容師～」(2024年9月29日放送)をもとに、記事とショート映像を再構成し、LINE NEWS に配信した作品です。

なお、LINE ジャーナリズム賞の受賞作品としては、MBSニュースから2023年に2本、2024年に2本選出されていますが、大賞に選出されるのは今回が初となります。



■内容

「チョコチョコキ、いやだー！」

発達障害のある子どもの中には散髪が苦手という子がいる。感覚や聴覚の過敏、ハサミが怖い…など理由は様々だ。

京都市伏見区で美容室を営む赤松隆滋さん(50)は14年前から発達障害の子どもたちの散髪を始めた。「ほんの少しの工夫と配慮で必ず切れるようになる」と赤松さんは言い切る。

今では「スマイルカット」と名付け、赤松さんの元には相談に訪れる人が絶えない。

2022年12月、初めて赤松さんの店に訪れたのは5歳のげんきくん。行ったことのない場所が苦手な彼はこの時、車から降りることさえできなかった。

「迷惑かけて、すみません」と肩を落とす母親の千明さんに、赤松さんは「無理やり連れて来てもダメ、ちょっとずつやりましょう」と言葉をかけた。

「どこに行っても謝ってばかりだった」と話す千明さんも気持ちが少し楽になった。

時間と共に少しずつげんきくと赤松さんの距離が縮まっていく。

1本のハサミが繰り出す親子の変化と赤松さんの活動を伝える。

■LINE ジャーナリズム賞とは？

ジャーナリスト・下村健一氏をアドバイザーに迎え、2024年11月から2025年10月に LINE NEWS に配信された430万本を超える記事の中から、「社会課題を工夫して伝えている記事」という観点で、LINE NEWS が独自に選出・表彰している賞です。

■過去の LINEジャーナリズム賞受賞作品

2024年

- ・5歳で性被害…「自分を殺したい」女性の叫び 10人以上の子に手をかけた男性の告白 小児性犯罪はいま(2024年1月22日配信)
- ・「金魚の糞やん」息子の死後に母が突き止めた苛烈なSNSいじめと、第三者委が下した“超異例”の判断(2024年9月21日配信)

2023年

- ・「世界を変えて」総理に宛てられた手紙と、命を絶った男の子の叫び “13歳の声”に見る『不登校』のいま(2023年4月5日配信)
- ・「売春してお金もらって。5000円」、「トー横」や“グリ下”…“家に居場所がない”漂流する若者達(TBS NEWS DIG/2023年4月22日配信)

■受賞コメント

ディレクター 八木万葉実

取材は初めての経験でした。「発達障害の子どもは散髪が苦手で、髪を切れない」という課題を知ったのは、親たちの SNS 投稿がきっかけ。どうやって髪を切るの？長年ドキュメンタリーに心を動かされてきた私は、赤松隆滋さんの活動を知り自身で伝えたい強い思いが湧き、テレビの“編集マン”ながら初の企画書を書きました。初回取材では車から降りられなかったげんきくん。ハサミを持たず 3 カ月が過ぎ、焦る私に赤松さんは「階段を上っている」と冷静。信頼関係が深まる二人を見つめる取材は約 2 年に及びました。今げんきくんは初のツーブロックに挑戦。お母さんと「こんな未来が来るとは」と笑いました。赤松さんの活動を学びたいとの声も多く、広がりを見せています。

プロデューサー 橋本佐与子

彼女の提案は、確かに全く意識したことがなかった視点でした。美容室に初めて来たお子さんの初日の姿と、カットが成功した時までの取材は、思った以上に長い時間がかかりました。真摯な気持ちと、取材相手との信頼関係の構築はドキュメンタリー取材で最も大切なことのひとつ、経験で培えるものでもありません。今作はディレクターの熱意から生まれました。心に残る言葉や場面を忘れないでください。

カメラマン 和田浩

企画から約2年。美容師の取り組みを丹念にカメラで見つめ、発達障害の子を持つ家族には、取材スタッフの存在を徐々に意識せずに受け入れていただき、ドキュメンタリーというひとつの形になりました。LINE ジャーナリズム大賞受賞は、企画の価値を高めていただけ、取材したものとして光栄です。「彼ら彼女らは”困った子”じゃなく”困っている子”」そのメッセージが、発達障害を理解する社会への一助になればと願います。

■LINE 記事URL

<https://news.line.me/detail/oa-mbsnews/sq76taj8ogw0>
(2025年3月27日配信)

■TVer

・シリーズURL

<https://tver.jp/series/srhw3ou4ml>

・エピソードURL ※12/9(火)午後6時以降有効

<https://tver.jp/episodes/epk4bl12hk>

■YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=i0pAKiTY264>

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局広報部